

ジャンボタニシの卵塊が多いです！

6月20日の病害虫防除所が実施した用水路のジャンボタニシの卵塊数調査（図1）によると、県南部の一部地点における卵塊数が1.91個/㎡（平常0.43個/㎡）と5月調査時に引き続き平常よりも多くなっており（図2）、水田内や用水路での個体数が平常に比べて多いことが推察されます。田植え時期後の注意が必要な時期となっており、十分な対策を取ってください。

<防除対策>

- 1 水田の取水口と排水口に金網（目合い2cm以下）等を設置し、用水路からの侵入を防ぐ。
- 2 水田内、用水路等のジャンボタニシの捕殺に努め、卵塊は早めに払い落とす。
- 3 田植え後20日程度までは、深水にならないような水管理に努める（平成28年には、6月中下旬の多雨で深水となったほ場で、甚大な被害を受けた事例がみられた）。
- 4 被害が予想される場合、田植え後のすみやかな薬剤防除を検討する。

<参考事項>

- 1 本年は暖冬傾向で推移したためジャンボタニシ（和名：スクミリンゴガイ）の越冬個体数が多いことが予想される。



図1 用水路壁に産みつけられたジャンボタニシの卵塊
(平成28年7月の状況)

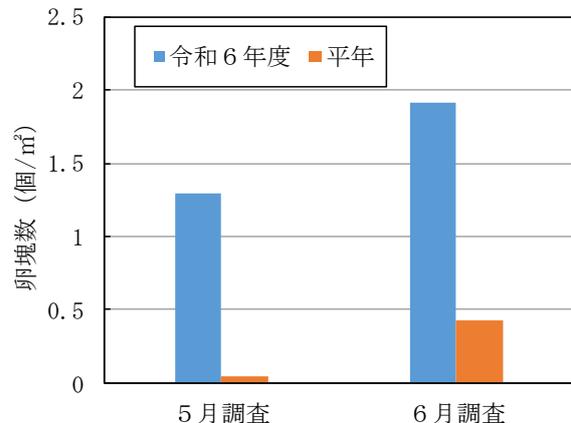


図2 ジャンボタニシの卵塊数（県南部一部地域）

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。
アドレスは、<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

